



NO.
38

岩田とも子

県議会レポート



発行所/〒861-2103 熊本市東区若葉5丁目8-14
連絡先/立憲民主連合 TEL:096-333-2644
FAX:096-387-5223
E-mail : tomokorin.berurin@icloud.com
HP : <http://www.webrun2.jp/tomo-tomo55/>

ご挨拶

暑い暑い夏でした。いかがおすごしでしたか？
能登半島では、元日の大地震に続き、9月21日から大雨による冠水や土砂崩れなどにより大きな被害を受けました。地震後の復旧途中の災害に本当にお見舞いするしかありません。立憲民主党熊本県総支部連合会では、ビブレス広場で災害募金活動をしました。私もそれに参加しました。多くの方から義援金をいただきました。現地の様子は悲惨極まりないようです。仮設住宅も床上浸水をする事態。亡くなられた方々に心からご冥福をお祈りいたします。他人ごとではありません。各家庭での防災点検を再度お願いします。

さて、この夏近所のスーパーや加入している生協ではお米が限定販売となって米が不足して心配された方もおられたのではないのでしょうか。坂本哲志農林水

産大臣は、「備蓄米は放出しない。新米が出れば大丈夫」というだけでしたが、米どころ秋田や山形では大雨被害で、新米も大丈夫だろうか心配です。減反政策をずっととってきた日本。鈴木宣弘東京大学特任教授は、「米農家の時給は100円もない」と言っています。食料自給率を上げていくことが喫緊の課題です。しかし、この熊本では、半導体産業の進出で、農地がどんどん減っています。このままで良いのか、みなさんと一緒に考えていきたいと思っています。

【熊本県議会のホームページ】

県議会インターネット
中継・録画は
こちらよりご覧ください



9月議会報告

9月補正予算・・・54億円の追加・・・その中身は

- 令和6年梅雨前線豪雨等による災害からの復旧 30億5200万円
- 赤潮被害をうけた養殖業の早期事業再開等にむけた支援 1億2000万円
- 益城町における土地区画整理事業の推進(宅地造成26画地分) 8億5600万円
- 住宅耐震化の緊急支援 7200万円

- 医療・介護現場における勤務環境改善 3億1900万円
- 林業技能の向上による林業従事者の就労環境改善 400万円
- 令和6年台風10号への対応 5億2800万円

などが追加され、現計予算額は8561億4800万円となりました。

一般質問

9月議会では12人の議員が一般質問を行いました。立憲民主連合会派からは鎌田聡議員と私、岩田智子の14回目の一般質問でした。木村知事就任後初めての質問でした。

1

緑の流域治水と川辺川ダムについて

- ① 多目的ダム法から河川法での治水ダムとなっているが、法的手続きはどうなっているのか
- ② 県での災害死亡者50名の死因や時間についての調査を行なったのか。山田川左岸で亡くなられた方について説明してほしい。
- ③ 「命と清流を守る」と言われている「清流」の定義は?

木村知事答弁

- ① 特定多目的ダム法での計画は今も存在している。廃止を国に求めている。今後廃止に向けて手続きが進んでいくものとする。廃止にあたり、知事は県議会の議決を経て国土交通大臣に意見を述べることでされている。
- ② 23地区で自治会長等26名の方に対する聞き取り調査をした。プライベートに関わるので、詳細はお示しいたしかねる。急激な水位の上昇、避難の遅れなどが複合的に重なり、人的被害が生じた。
- ③ 清流に対する思いはお一人お一人異なり、一つの言葉や指標で説明できるものではない。知事意見ではさまざまな観点で意見を述べている。

球磨川流域では50の方が亡くなっている。市民団体の調査した写真や動画、証言などを共有すべき!山田川左岸で亡くなられた方はバックウォーターではなく、山田川の氾濫であれば、命の責任を取るべき。「清流」とはなんなのか説明する責任はあると思う。「清流」の定義を作るべき。

2

公職選挙法に関する知事のお考えについて

東京都知事選挙の立候補者のポスター掲示板での、枠の売買や女性の全裸ポスターなどが出たことを受けて、公職選挙法の改正が必要だと答えられた考えを聞かせてほしい。

木村知事答弁

選挙という民主主義を構成する重要な手続きの場を軽視するものであり、政治への信頼を低下させる由々しき事態と受け止めている。これまで以上にポスターの掲示目的を明確化した上で、品質保持や営利目的の行為の制限が図られるよう、公職選挙法の改正を早期に行うべき。

良識があるとされている候補者に良識がなければ政治不信は広がる!警察にも公平公正な対処を望みたい。

3

「障害」のある人への合理的配慮について

全国に先駆けて取り組んでいる、合理的配慮の義務化が「障害者差別解消法」で今年の4月1日から合理的配慮の義務化となったが、相談が後を断たない。さらなる周知や理解促進について伺う。

下山健康福祉部長

合理的配慮の提供にあたっては、申し出への対応が難しい場合でも、障がいのある方と事業者等が対話を重ね、共に解決策を検討していくことが重要。本年4月に全事業者による合理的配慮の提供が義務化され、今年度の出前講座の申し込みが昨年度の2倍のペースで増えている。県民の意識の高まりを感じている。

この合理的配慮というのは英語のreasonable accomodation(リーズナブルアコモデーション)からきていて、双方に意味のある配慮、障害者の完全な参加を可能にする機会の調整や変更というところから、合理的配慮と訳されたと聞いている。配慮というと健常者が障害者に心配りをしましようという意味合いに取られていることが問題。

4

県立高校での中途退学者への支援や取組について

白石教育長

公立私立を含めた中途退学者は令和2年度324人、令和3年422人、令和4年度605人と増加傾向。退学後は就職やアルバイト、高校への再入学、高卒認定試験を受験しての進学など。未然防止として、オリエンテーションや学習支援など行なっている。一人一人の状況に応じた学びの継続や就労支援取り組む。

中途退学者の多い学校への調査や、私立高校の課題も掘り下げるべき!

5

ひきこもりと言われる方々への支援について

下山健康福祉部長

ひきこもり地域支援センター「ゆるここ」を設置し、支援を行なっている。令和5年度の電話相談はのべ689件。男性が7割。ひきこもりの期間が3年を超える方が7割。相談員は3名配置。県民に対し、啓発活動に取り組んでいる。心の医療センターではひきこもり外来を設置し、診療を受けやすい環境づくりを進めている。

ひきこもり当事者もその周りにいる家族も、周りの無理解から、「甘やかし、なまは親の育て方の問題」とした、偏見が強く、いまだに、なかなか相談ができない状況にあるのが現実。経験を積んだ専門性のある相談員の配置をお願いしたい。

6

国民保護法に基づく県の取組について

- ① ミサイル避難動画について
- ② 県民への情報公開について

木村知事警弁

- ① 国の外交を基軸とした不断の取組みにより、国民保護を要する事態に陥らないことを何よりも望む。しかしながら、昨今の緊迫した国際情勢を踏まえると避難行動を含めた国民保護の取組みの重要性はますます高まっている。弾道ミサイル攻撃等万が一の事態は決してあってはなりません。その万が一の事態においても自身の身を守るための最善の行動を理解してもらうことは必要。
- ② 日米共同訓練は「事態対処法」における「武力攻撃事態等への対処においては日米安保条約に基づいてアメリカ合衆国と緊密に協力する」規定等を踏まえて実施されている。九州防衛局に対し、事前の情報提供、訓練期間中も逐次情報提供を申し入れ、県民の不安払拭のための対応を強く申し入れている。九州防衛局からの情報は速やかに公開する。

本当に国民を守ると考えるならば、地下の整備や頑丈な建物を作るのが先だと思うが、戦前の竹槍訓練や防災頭巾を被っての避難と変わらない。不安を煽っていると感じる。日米共同軍事演習は、事故をおこしたオスプレイ(アメリカでは原因がわかるまで、飛行場から30分の空域に限定して飛んでいる)も飛び、情報もなかなか出ない。県民にしっかり知らせるべき

採択された請願・意見書と条例の制定

- 熊本県議会委員会条例の改正。第2条「観光戦略部」を「観光文化部」に改める。第5条
- 私学助成の充実強化等に関する意見書
- 独立行政法人福祉医療機関が行う、社会福祉施設等の退職手当共済制度に係る公費女性の継続を求める意見書
- 再生可能エネルギー施設等に係る不安解消及び自然環境との共存を求める意見書※

※国立公園や水源涵養地などの自然環境の中に、再生可能エネルギー施設の設置を進める不安や、処理等への不安を解消する取組を国に要望する意見書です。

岩田とも子の政治活動



7月7日花畑公園で川辺川ダムはいらん集會に参加。川辺川・球磨川の鮎を守りたい!



パレアでの県政報告会も定期的に開催しています。この日は火の国祭りでしたが、たくさんの方にお越しいただきました。



立憲民主党のみなさんと居ても立っても居られず能登の災害被災者募金活動をしました。



会派で熊本県保健環境科学研究所を視察。ここで水の検査などを行います。



木村知事とくまもと女性議員の会との意見交換会も行いました。子育て施策など具体的な意見交換ができました。



北朝鮮拉致被害者を救う署名活動にて、インターン学生と高藤県議杉嵩県議と頑張りました。

SNS
やっています
フォローして
くださいね!



障害者の自立と政治参加を進めるネットワークの全国大会。総務省に議会での合理的配慮を要請しました。写真は浦和市議会議場にて。



Instagram



facebook



平和が一番! 東区の会のスタンディング。夏も頑張りました。



8月9日と2人のインターン学生が議員の政治活動を体験しました。